



2018 ワシントンDC環境映画祭  
Polly Krakora Award for Artistry in Film 受賞



本当の「美しさ」は  
人生の旅の中で、めぐり逢う



植物の魔術師 ピート・アウドルフのドキュメンタリー映画

# FIVE SEASONS

## THE GARDENS OF PIET OUDOLF

A FILM BY THOMAS PIPER

FIVE SEASONS

ガーデン・オブ・ピート・アウドルフ



監督：トーマス・パイパー 出演：ピート・アウドルフ、カシアン・シュミット、ノエル・キングスベリー、ハンス・ウルリッヒ・オプリスト、リック・ターグ、ロイ・ディブリック他  
2017年 / 75分 / 原題：Five Seasons: The Gardens of Piet Oudolf / アメリカ

宣伝・お問い合わせ：イコロの森 [ikor-no-mori.com/fiveseasons/movie](http://ikor-no-mori.com/fiveseasons/movie) 後援：オランダ王国大使館 公式サイト：[fiveseasonsmovie.com](http://fiveseasonsmovie.com)

ARGOT PICTURES PRESENTS FIVE SEASONS: THE GARDENS OF PIET OUDOLF SOUND DESIGN BY BILE DONNELLY TIMELAPSE ANIMATION BY TRIPLNODE  
CINEMATOGRAPHY BY THOMAS PIPER EDITED BY THOMAS PIPER SARA PELLEGRINI RACHEL SHUMAN AND CORINNE VAN DER BORCH  
MUSIC COMPOSED BY DAVID POR JONSSON AND CHARLES GANSA PRODUCED AND DIRECTED BY THOMAS PIPER

ガーデニングをしなくても良い  
 葉っぱと根っこの違いが分からなくても良い  
 誰もが心奪われるドキュメンタリー  
 - LAタイムズ紙



“僕のガーデンデザインは植物だけにとらわれない。  
 感情や空気感、思いをめぐらす感覚を引き起こすもの。  
 自然を求めるのは遺伝子に組み込まれている記憶のようなものだからね。”  
 - ピート・アウドルフ

### 今まで見えなかったものに目を向けさせてくれる

ニューヨークにある高架線路跡の公園「ハイライン」のドキュメンタリーを撮影後、監督のトーマス・パイパー氏はハイラインの植栽デザインを手がけ、ガーデン&ランドスケープ・デザイン界に激震を起こしたプランツマン、ピートアウドルフ氏に出会う。FIVE SEASONSは、「美しさ」の常識を覆すアウドルフ氏のデザインプロセスを抽象的でポップなデザイン画、自身の「美」や「環境問題」に対するセオリーを通して紐解いて行く。秋から始まる5つの季節を巡るストーリーは、彼の最新にして最高傑作とされるアートギャラリー「ハウザー&ワース (サマーセット、UK)」とオランダ・フメロの自庭を軸に、世界各地にある彼がデザインしたガーデンやインスピレーションの素となる植物の自生地にも足を運ぶ。枯れゆくものの「美しさ」、思いがけないものの「美しさ」、新しい「美しさ」の発見に魅了される。

## 植物の魔術師“ピートアウドルフ”ドキュメンタリー映画「FIVE SEASONS」上映会 & トークイベント

### トークイベント：植物の美的価値観とは

2019年11月30日(土)

場所：兵庫県立美術館  
 ミュージアムホール

定員：250名

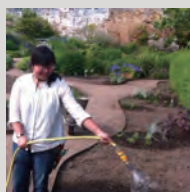
料金：無料

開場：13:30 / 開演：14:00

上映：14:10～15:25

トークイベント：15:40～16:40

コーディネーター 田淵 美也子  
 総括 中瀬 勲  
 (兵庫県立淡路景観園芸学校校長  
 / 兵庫県立人と自然の博物館館長)



田辺 沙知  
 / イコロの森 ガーデナー

本映画の配給および広報、本編の字幕翻訳を手がける。ICU教養学部で生物学、北海道大学大学院で植物生態学を学び、のちにエジンバラ大学にてランドスケープアーキテクチャーを学ぶ。現在は北海道の観光庭園「イコロの森」の管理・運営に加えてランドスケープやガーデンデザインのプロジェクにも関わる。土と植物に普段から触れることを重視して、その空間らしい植栽やメンテナンス方法を心がける。



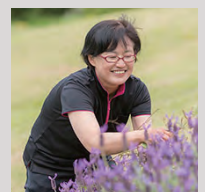
田口 真弘  
 / 株式会社グリーン・ワイズ  
 クリエイティブ・ディレクター

ルイジアナ州立大学大学院ランドスケープデザイン学科修了、フロリダの設計事務所であるEDSAIに13年間勤務後、2019年3月より現職。サステイナブルなランドスケーププロジェクトを多数展開する。グリーン・ワイズ本社屋上庭園は、ピート氏と親交の深いトムデウィット氏と協働し、環境認証SITESも米国外初で取得する。米国ランドスケープアーキテクト(PLA)、SITES®評価員(SITES AP)、LEED GA。



寺門 孝之  
 / 画家

神戸芸術工科大学ビジュアルデザイン学科教授。間(あわい)のデザイン研究所所長。1985年、第6回日本グラフィック展大賞を受賞。新たな観点からの天使画を中心とした幅広いビジュアルワークを展開。『Holy Basil』『ぼくらのオペラ』など著書多数。現在、受胎告知画の研究から新作能の創作に挑んでいる。



田淵 美也子  
 / 兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科准教授

兵庫県西宮市出身。大阪府立大学農学部造園学教室卒。造園コンサル勤務後、尼崎市緑化植物園で勤務。札幌に移住し、札幌市公園緑化協会にて25年以上都市公園の維持管理、マネジメントに従事。特に都市緑化植物園に長年携わり、公園の花修景、イベントなどを手掛けた。2014年に関西に戻り、神戸市立森林植物園副園長を経て、2017年10月より現職。

主催：兵庫県立淡路景観園芸学校/兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科 問い合わせ先：0799-82-3131

申し込み先：seminar@awaji.ac.jp (お名前、ご所属、人数を明記の上)

※申し込みは先着順となりますので、お早めにお申し込みください。また、申し込み後にキャンセルをされる場合は上記メールアドレスまで必ずご連絡ください。